

## 脳神経内科学講座教育・研究組織に関する提言

### 1. 講座のあり方と方向性

脳神経内科学講座は神経学を中心とする教育と高度な専門的医療を行い、地域医療に貢献する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、また、人材の確保を推進していくことが必要である。

### 2. 診療

本学附属病院における各種脳神経疾患に関する診療の中核となり、関連診療科との連携の下に先進的医療を実践してゆくことが求められる。

### 3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

### 4. 研究

脳神経血管病態研究施設の一講座として、神経変性疾患、認知症、脳血管障害を含めた脳神経疾患に関する学理及びその応用の研究を推進することが求められる。

### 5. 社会活動

専門医の育成を含め地域医療に対して積極的に貢献することが求められる。

### 6. その他

脳神経内科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、附属病院神経内科のリーダーとして、講座・診療科の機能充実を果たすことのできる人物が求められる。また、学外の医療機関と密接に連携することによって、地域全体での医学の充実を進めることのできる人材が必要である。

平成30年 3月19日

### 脳神経内科学講座教育・研究組織提言委員会

委員長	若林孝一
副委員長	福田眞作
委員	藏田潔
委員	今泉忠淳
委員	上野伸哉
委員	富田泰史
委員	中村和彦
委員	大熊洋揮